令和5年度第2回社会教育委員会議会議録

開催日	令和5年10月2日(月)	開会時間	13時30分			
会場	市役所5階 502会議室	閉会時間	15時10分			
委員の 出欠状況	疋 秀 年 (代理 田村 浩紀)	出	長 友 真 理	出	◎久 米 隼	出
	佐 野 一 機	欠	鈴 木 敬 一 郎	出	石 田 清	出
	柳 下 和 弘	出	富 澤 仁	出	山 崎 雄 一	出
	佐々木 元 子	出	伊 藤 芳 夫	出		
	中 根 敏 博	出	○森 田 圭 子	欠		
	小見山 映 二	欠	泉 常 夫	出	◎議長 ○副議長	
傍聴者	なし					
事務局	【教育委員会】 石川教育長、寄口教育部長 【生涯学習課】 亀井次長兼課長、山本課長補佐、館野主査、田谷社会教育指導員、西生涯学習推進員、 【スポーツ青少年課】 森谷課長					
議 題	1 研修会 「学びとつながりが拓くこれからの社会教育」 講師 全国体験活動ボランティア活動総合推進センターコーディネーター 全国視聴覚教育連盟会長 馬場 祐二郎 氏 2 社会教育推進に関する意見交換					

1 開会

2 あいさつ

○石川教育長

みなさま、こんにちは。

本日は、ご多用にも関わらず、和光市社会教育委員研修会・生涯学習講座にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。教育長の石川でございます。

先ほど司会からもありましたが、本日は社会教育委員の皆様が委員に就任後、2回目の会議となりますので、社会教育について更なる研鑽をお願いしたく、会議の中に研修会を設けさせていただきました。

そして、大変ご多忙な中、全国体験活動ボランティア活動総合推進センターコーディネーター、全国視聴覚教育連盟会長の 馬場 祐次郎 先生に本日は快く講師をお引き受けいただきましたことに、感謝申し上げます。

さて、令和4年3月14日に社会教育委員会議から答申されました「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」には、多くのつながりを生み出す社会教育が和光市において求められていると記されております。行政・学校・地域・団体・企業など市内のさまざまなセクター、また学びをとおした市民どうしのつながりをつくること、今後、和光市の社会教育の課題となっていくと思います。

本日、馬場先生には「学びとつながりが拓くこれからの社会教育」についてご講話いただきますが、その中に課題解決のヒントがあることと思われます。

是非、限られた時間ではございますが、皆様の学びの良い機会となれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

○久米議長

和光市社会教育委員の久米隼と申します。

開会にあたり、和光市社会教育委員を代表しまして、委員の紹介も兼ねてご挨拶をさせていただきます。和光市社会教育委員は市内の社会教育関係団体から選出された委員、公募による市民、学識経験者の総勢15名から構成され、日々活動しております。本日の研修会に参加されている多くは社会教育委員として活動している方々です。社会教育委員会議としては、教育長より諮問を受けまして、令和4年3月に「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」を答申いたしました。この答申を踏まえて、令和4年度から社会教育を充実させる為の活動を進めており、令和5年度は計画を立てる段階から答案内容を検討し、着実に歩みを進めているところです。

本日はご多用のところ馬場先生にご講義いただけることとなり、更に、本日のタイトルは「学びとつながりが拓くこれからの社会教育」ということで、まさに和光市のこれからの社会教育を考えていく上で、和光市の社会教育に必要な講座ではないかと思い、大変楽しみにしておりました。教育長をはじめ生涯学習課の皆様には本日の講座をご準備いただいたことに深く感謝し、馬場先生から学ばせていただきたいと考えております。また、ご参加いただいております市民の皆様、そしてご出席いただいている社会教育委員の皆様には和光市における社会教育のこれからの考えるきっかけとして本日の講座をご受講いただき、終了後には意見交換をさせていただければと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 研修会

「学びとつながりが拓くこれからの社会教育」

講師 全国体験活動ボランティア活動総合推進センターコーディネーター、全国視聴覚教育連盟会長 馬場 祐二郎 氏

4 社会教育推進に関する意見交換

○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。

○議長(議事進行)

それでは、委員の皆様からお一人ずつ次の2点のことをお話いただきたく存じます。

1点目、今回の研修会のご感想、2点目、和光市のこれからの社会教育にどう生かせるかご意見をお伺いいたします。

○山崎委員

大変良い研修を受けさせていただきました。

社会教育は漠然としていて一般市民にはなかなか分からない状況下で、色々な事例をもって説明いただいたと思います。自身の活動と先生に教えていただいたものが結びついていくという流れについて非常に為になったと感じております。

今後の和光市で生かせるものについては、自身も地域学校協働本部コミュニティスクール等々の中で動いているもの自身の経験を基にICTを活用しながら、地域の方への支援、生徒・児童達への教育・学習の支援をより実行できるような形で自身と自身の会社とで活動をしていきたいと強く思いました。

○石田委員

本日の講義は事例が多く、大変勉強になりました。さらに詳しく学びたいと思いました。学校教育・家庭教育・社会教育の関係が良く説明されていたのでとても参考になりました。私の経験において地域の中で社会教育を推進するという実践が非常に少ないので、今後の課題としたいと考えています。

○泉委員

相互メリット。社会教育は教育を受ける側だけではなく教育をする側にとってもメリットがないと成立しないというのが印象に残りました。それを踏まえて、家庭・学校・団体において誰がどのように教えるのか、指導者の人選や教育が今後の課題となると考えます。また、地域住民と指導者を結びつける役割は必要で、社会教育に意欲のある人を上手く活用するということが大事だと思います。公民館はその役割を担う重要な位置にあり、経験と熱意のある職員の異動については十分に検討いただきたいと思っております。

○伊藤委員

本日の研修会について先生のお話にありましたように、教育と学習の違い、人材育成の必要性、なかなか理解するのが難しいところですが、大変良い勉強になりました。

地域の自治会で学校訪問をさせている時に感じたものが、前例踏襲の部分があるのでそこを改善していきたいと感じました。答申に「攻めの社会教育」と提言させていただいておりますが、今後、新しいことも取り入れやすいような仕組みにしていくことができれば良いのではないかと考えました。

○富澤委員

児童委員の立場から、教育の課題として家庭の教育力の低下があります。社会的相続が上手くいっていない状況が家庭での教育力の低下に繋がっているのではないかと感じます。そして、そのような状況下で教育を受けた子どもたちは教育を受ける力も低下しているのではないかと考えます。学校教育、社会教育を受ける過程になっても上手く消化できない状況になるのではないかと考えます。先生のお話の中で家庭教育の支援を通じた支援づくりがあげられましたが、家庭教育に対してもっと力を注いでいく必要があるのではと考えます。

和光市の社会教育をどの様に生かしていくかについてですが、和光市には国の機関や民間企業、様々な教育資源が非常に豊富にありますのでそれらを活用し、社会教育を広げていた

できればと思います。

○鈴木委員

社会教育とはなんだろうと考えた時に、楽しんでやらないと中々取り組めないものだと感じました。難しいことを自身が理解できていなければ、人に伝えたり、教育することもできないと感じます。かみ砕いていき、地域にどういふプロセスでどういふアプローチをするのが重要だと思います。地域の方々は最近、学校の話題を上げるなど、学校に興味を示していると感じますが、そういった人材資源を巻き込み、社会教育を進めていくべきではないかと考えます。今後は校長先生を筆頭に進めていくべきではないかと考えます。

○長友委員

社会教育が生涯学習と違うということが今日の講義で印象強く感じました。社会教育の目的も地域を担う人を育てるといふことなので先が見える分かりやすい内容でした。自分の活動としてはPTAで保護者に向けた講演会を予定しておりますが、保護者同士の繋がりをつくるということを目指していますが、本日の講演にありましたように新しい繋がりをくわいていくのではないかと期待しております。その他に地域のボランティア活動として乳幼児とその保護者を対象とした多言語広場という事業を行っておりますが、その中で、人を育てていく、地域を豊かにすることに繋がるのではないかと考えています。

○中根委員

和光市は子育て世代が入ってくるという特性がありますので、それに伴ってそれぞれの参画を推進する必要があると思いました。和光市スポーツ協会として、現在、剣道部の部活指導をしておりますが、社会教育の一環として、自主性を大切に指導しております。生徒は今では自分たちの役割を意識して行動できるように成長しております。講演の中で部活の指導者の地域移行の話がありましたが、欧米では地域でスポーツ選手を育てている事例があります。地域で指導できる方を積極的に取り組んでいき、日本型の指導者の地域移行を進めていく必要があると考えます。

○佐々木委員

本日の講演はとても分かりやすく有意義でした。また、ウェルビーイングという誰もが幸せに暮らせる社会をつくるという素晴らしい言葉に出会えて嬉しかったです。資料も詳しい事例が沢山載ってて分かりやすかったです。皆さんの期待ということで社会教育関連事業に関心をもつことやアンテナを高くするなどできるだけ多くの方と繋がる、自分自身の活動においても積極的に広げていければと思います。

○柳下委員

社会教育委員としてどのように活動していくのか、他県の例を参考に分かりやすく説明して下さったので有意義な実りのある研修になったと感じております。コロナの影響で希薄になりつつあった人との繋がりと部分部分が今後求められていると感じました。和光市の取組として

は子ども達、高校生、若い世代にどのような事を伝えていけるのかを考えた時に指導者の教育も大事だと思いました。指導者自身が和光市の歴史や特徴、良さを学び、それを子どもたちに伝えるということが大切だと思いました。

○田村教頭

コミュニティスクールと地域学校協働活動一体型推進につきましては本校も今年度からコミュニティスクールを開始させていただきまして、学校運営協議会等で地域の皆様のご協力をお願いしているところでございます。第1回の会議を受けて市の方から本校の紹介ということで催しでのブースを設けていただきたいという温かいお話をいただきましたので全力で取り組んで参りたいと思います。特別支援学校の課題である地域の方に見ていただくということを今後進めていけたらと思います。

○議長(議事進行)

先生に答申を読んでいただき、「攻めの社会教育」という言葉を出していただきましたように、これからは待ちの社会教育ではなく自ら社会に出て取り組むというような社会教育が求められています。社会教育委員の役割として、教育委員会に提言をするということと、調査・研究を行うということが挙げられます。これは日頃のみなさんの活動そのものです。他の団体の活動を見に行くというのも大事な皆様の活動の一環ですので、今日の先生のお話にもありましたように、原点に戻って社会教育の更なる発展のためにご協力いただければと思います。

それでは、本日の審議内容はすべて終了いたしました。これにて、議長の任を離れさせていただきます。委員のみなさまには、ご協力をいただき、ありがとうございました。

○事務局

本日はお忙しい中、長時間に渡りましてご意見等を頂きまして誠にありがとうございます。今回の会議の中で皆様からいただきましたご意見につきましては、今後の社会教育関連事業の推進に反映できるよう検討して参りたいと思います。会議録公開に関する今後のスケジュールですが、この後、事務局では、本日の会議の会議録を作成し、各委員の皆様にご協議の確認をしていただいた後、市HPに掲載いたします。

なお、第3回社会教育委員会会議を12月18日(月)13:30より和光市役所にて計画しております。後日、文書にてご依頼申し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

では、これをもって会議を終了いたします。おつかれさまでした。

5 閉会